

第58回 卒業証書授与式

～ 58名の卒業生(58回生)が学び舎に別れを告げました ～



3月1日(火)、第58回卒業証書授与式を挙行了しました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、昨年度に引き続き在校生の参列を見合わせるなど、様々な感染予防対策を講じた上での卒業式となりました。晴れて卒業の日を迎えた本年度の卒業生(58回生)58名は、マスク越しにクラスメートと3年間の学校生活を振り返り、沢山の思い出が詰まった学び舎に別れを告げました。

卒業生代表答辞より

～「松高をさらに素晴らしいものにしていくことを期待しています」～

私たちの成長は、これまで支え導いてくださった多くの方々があってこそです。一緒に悩み考えてくれたこと、行き場のない感情をすべて受け止めてくれたこと、本当にありがとうございました。

私たちは4月からそれぞれが新たな道を歩みだします。これからの長い人生、困難に直面することもあるでしょう。でも、遠回りしたって、一歩下がったって、立ち止まったっていいんです。自分を諦めなければ、次の扉はいくつも形を変えて現れると思います。これが松浦高校での経験と教で、私が得たことです。



この松浦高校を在校生の皆さんが、さらに素晴らしいものにしていくことを期待しています。

(代表：深見純矢さん 志佐中学校出身)



卒業生各種表彰

～ 延べ56名の卒業生が高校生活最後の表彰状を手に入れました ～

2月28日(月)、卒業生各種表彰式を行い、延べ56名の卒業生が表彰されました(概要は下記のとおり)。

【表彰された卒業生】

注) ()内は出身中学校

[県教委優良卒業生徒表彰]	深見 純矢 さん(志佐)
[全国高体連表彰]	四田 光虹 さん(御厨)
[県高体連卒業生顕彰]	網本 佳悟 さん(東部)
[県高文連卒業生顕彰]	長谷川遥菜 さん(御厨)
[全商成績優秀者表彰]	松尾 幸 さん(御厨)
[全商3種目以上1級合格]	山本茉悠子 さん(鹿町) 他 3名
[県ビジネスミスター表彰]	石橋 美咲 さん(田平) 他 10名
[高校生新聞社賞表彰]	3年4組(サイバーセキュリティボランティア) 田郷 美羽 さん(御厨) 他 15名
[皆勤者表彰]	板垣 陽香 さん(志佐) 他 9名
[精勤者紹介]	梶原 奈央 さん(調川) 他 9名



PTA記念品贈呈式・同窓会入会式

～ 卒業生が感謝の気持ちを胸に、2つの式典に臨みました ～

2月28日(月)、PTA記念品贈呈式と同窓会入会式を挙行了しました。記念品贈呈式では、PTA会長の川下高広様より記念品(印鑑付きボールペン)が贈呈された後、卒業生を代表して相知若奈さん(田平中学校出身)が「皆様の温かいお心に育まれて成長してきたことを肝に銘じ、



立派な社会人になるよう、心がけます」と感謝の言葉を述べました。

同窓会入会式では、同窓会長の藤田英敏様の挨拶の後、三股陽菜さん(志佐中学校出身)が記念品(卒業証書ホルダー)を受領し、宮崎鈴彩さん(志佐中学校出身)が「今後は同窓会の一員として、母校の更なる発展に寄与していきたいと思っております」と入会にあたっての決意を述べました。



まつナビ・プロジェクト課題研究発表会

～ 2年生が課題研究の成果を発表しました ～

3月17日(木)、松浦市文化会館にて「まつナビ・プロジェクト(MNP)課題研究発表会」を開催し、2年生の13グループが、ステージでの発表やポスターセッションで課題研究の成果を発表しました。「住みやすい町に!!」というテーマで発表した4A班の石橋遼さん(御厨中学校出身)は「『まつナビ』に取り組んで、課題解決能力や物事を多角的に捉える力がついたと思う。今後の学習や社会生活に活かしたい」と語りました。



4月のおもな行事(予定)

注) ①は1年(新入生)、②は2年(現1年)、③は3年(現2年)。

4月 1日(金) 入学予定者オリエンテーション	4月 17日(日) ノー部活動デー
新クラス発表、①心理検査、制服販売	18日(月) 面談期間(40分日課)(~4/28)
7日(木) 入学式式場設営	第1回定例専門委員会
8日(金) 新任式、始業式、入学式	20日(水) 身体測定、新体力テスト
11日(月) 容儀検査、①課題テスト	22日(金) 歓迎遠足
12日(火) 特別時間割、①新入生研修(~4/14)	23日(土) ①スタディサポート、③就職模試
13日(水) ②③早朝補習開始、①内科検診	③看護医療模試、③公務員模試
14日(木) ①心電図検査、悩みの調査	25日(月) ①早朝補習開始
15日(金) 全校朝会(前期役員任命式)	27日(水) ①②②検尿1次(~4/28)
①商業科研修、部活動編成会	②内科検診

「松高に思う vol.19」 卒業と相手意識に行動力 社会は揺れる みんながんばれ

東京パラリンピック車いすバスケットボールで活躍した鳥海連志さんの話を卒業式で紹介しました。彼は、「チームを引っ張るにはどうしたらいいか」との質問に対して、次のように答えています。

「誰よりも練習する。準備や片づけを誰よりもやる。周りをよく見て声をかける、相手を気にかけることが大切」

相手を気にかける行動することは、松高でも大切にしていることです。そして、コロナ禍やヨーロッパでの戦乱など、地球の未来予想図は予測困難な状態が続いています。卒業生が松高で身に付けた「相手意識を持って自ら行動する力」を活かして、変化の激しい社会を生き抜いて欲しいと願った一日でした。

(校長 小野下和宏)

